



旭農校教育の充実を願って



第八代同窓会 会長
福島 堅一 (35 Ab)

永農、旭農同窓生の皆様には、新しい年を迎え、今年こそはと言う思いで、大きな期待をもち、益々御健勝のことと思います。

日本の政治、経済の混迷はいつ先が見えて来るかわからない状況で、日本の主力産業、特に一次産業の将来に不安を与えている状況で、これから社会に巣立つ若者に、厳しい状況である。高校、大学を卒業しても、働く場所が無い、仕事を求め就職活動に二年も三年もかかっている。農業従事者、後継者についても、今問題とされているTPPによる壊滅的な影響があることまでいわれている中で、一日も早く、将来のしつかりとした設計の立てる事が出来る農政の改革がなされることを願うものです。

この厳しい中で将来の農業を支える教育が、重要な時である。この事は旭農校に限らず、道内の各農業高校のより充実した、プロを育てる教育が重要な課題である。同窓会としてもこの難局を乗り越えるため、母校の教育に必要な支援を、学校と

連携をとりながら進める必要があります。今日、社会が若者に何を求めているか、見極める必要がある。

社会の動向を、的確に把握し、しつかりとした、職業意識をもち「生きる力」を身につけることであります。日頃の中広い体験も必要である。母校も中国研修等、地域へ出での「価値ある体験」

研修を多くされています。各地で活躍している同窓生の皆さんの適切な支援、指導が大切であります。

旭農・農業教育振興会による、地域社会全体での支援、学校の教育条件、環境整備、教材の充実等学校の希望に答える様に努力をするつもりです。学校の間口減等、厳しい状況の中、高い競争率を誇る母校である、社会の大きな期待に応えるべく先生方、生徒達の、日頃からのたゆまぬ努力を期待するものです。その努力の成果が、母校の教育向上と発展に大きく貢献するものです。



同窓会への「感謝」



第二十四代 校長
小川 龍幸

同窓生の皆様には母校支援のご理解とご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

永農・旭農同窓会の皆様には母校の教育活動に対し

まして、日頃よりご支援・ご協力を賜りまして心よりお礼申し上げます。本校は、正12年3月に開校し、爾来、88年間1万3千7百余名の卒業生を輩出している伝統校であります。同窓会活動につきましても大変活発であり1月の総会をはじめ、各支部活動等多くの同窓生が集い母校への思いを語っていただいております。本当にありがとうございます。

農業科、林業科の2学科で開校した本校も、時代の変遷による学科改編により現在は、農業科学科、食品科学科、森林科学科、生活科学科の1学年16名4学科体制となっております。特色ある専門教育の充実及び地域との連携強化を推進し、開かれた農業教育の充実を目指しております。農産、乳肉製品等多様な農産加工品の定期販売会等で地域住民

に好評をいただいております。

地域の各施設への訪問や、勤労体験学習さらには、農業クラブ・生徒会活動、部活動の充実を図りながら地域の皆様の理解を得て、地域と一体となった教育活動の推進に努めているところでございます。

今年度もまた同窓会の支援による「教育振興基金」、まことに有り難うございます。一部を公募による4名の生徒の中国研修旅行にも活用させていただきます。貴重な基金でございますので、将来同窓生の一員となる生徒の資質向上・視野拡大・国際性の涵養等のためにも使用させていただきます。

終わりに、生徒が母校に誇りを持ち母校を自慢できる学校づくりに職員一致協力して努めて参る所存でございます。今後ともご支援・ご協力のおよしくお願ひ申し上げます。



平成23年旭農同窓会総会報告



同窓会 幹事長
山 川 勝 (38Ab)

永農・旭農同窓会総会が1月29日に旭川口ワジールホテルにおいて開催されました。福島同窓会長から、多くの支部長

に出席をいただき総会を開催できることのお礼と、同窓会は、地域に密着した活動を実践し母校への支援を推進することが役

割と考えており、今後の同窓会活動方針にとり入れていきます。

学校行事に参加させていただいたが、前向きな姿勢と明るさが感じられる生徒ばかりである。農産物の生産、加工販売、食に係わる取り組みなどの経験が、これから生かされ大きく役立っていくと信じていると挨拶がありました。

東京支部を含む32支部から支部長、代議員の参加と委任状9支部を持つて、総会の成立宣言が荒井事務局長より報告され開会、議長に、住田当麻支部長を選出し議事に入りました。

● 議案第1号
平成22年度事業報告提案とおり承認される。

● 議案第2号
平成22年度会計決算報告・監査報告提案とおり承認される。

● 議案第3号
平成23年事業計画提案とおり承認される。

● 議案第4号
平成23年度予算各支部の組織強化対策として実施された支部助成事業は5年間の期限が終了しましたが、支部助成の方法を変えて継続することとし、実施方法については役員会に一任さ

れ提案とおり承認される。

● 議案第5号
平成24年同窓生の集いの当番期の確認
実行委員を昭和49年卒期とすることが、確認され承認される。

● 議案第6号
役員改選
任期満了に伴う役員改選については、支部長の中から7名を委嘱し役員選考委員会を開催、委員会において検討され

旭農近況報告



教 頭
大 関 俊 郎

同窓会会員の方々には、日頃より母校の教育活動へのご支援、ご協力を賜り、様々な面からお力添えをいただいておりますことに、この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

同窓会機関誌の発行にあたり、生徒の状況等を紹介させていただきます。

部活動

- 野球部・排球部・籠球部・羽球部・蹴球部・陸上部・庭球部・弓道部・卓球部
- 図書局・放送局・演劇部・書道部・美術部・写真部・家政部・吹奏楽部
- ※吹奏楽部 第12回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜(平成22年11月6日～7日)審査員長賞及びバンドジヤナル賞、日本ジャズ協会スインギー賞受賞

た結果、増茂選考委員長(旭川東支部長)から総会において、現役員を再選する案が発表され承認される。

議長退任挨拶

最後に出席者の自己紹介をおこない閉会しました。なお、引き続き行われた同窓会の集いの中で、幹事長から総会報告を行いました。



◆吹奏楽部
第3回吹奏楽部定期演奏会



◆吹奏楽部
第12回全日本高等学校吹奏楽大会in横浜



◆陸上部
全道大会出場権獲得



◆食品科学科
東京食彩フェア出展



◆食品科学科
製造実習



◆農業科学科
自然エネルギー利用の研究



◆農業科学科
田植え実習



◆生活科学科
札幌花フェスタ出展



◆生活科学科
販売実習



◆森林科学科
演習林実習



◆森林科学科
演習林実習



◆農業クラブ
全国大会 鑑定競技



◆農業クラブ
全国大会式典会場

農業クラブ関係
※全国大会（北海道岩見沢市／平成22年10月6日～7日）
優秀賞／プロジェクト発表（食料・生産）、農業鑑定競技、農業コース、食品科学コース、林業コース

市町村	生徒数	市町村	生徒数
旭川市	384	美瑛町	13
東川町	9	士別町	1
東神楽町	3	比布町	9
上川町	2	和寒町	5
当麻町	35	その他	3
愛別町	12		
鷹栖町	4	合計	480

出身市町村別生徒数
（平成23年1月31日現在）
全校生徒は480名男子36%、女子64%、出身市町村別に見てみると旭川市の生徒が非常に多く、全体の80%の割合になっています。

学 科 名	1 年 生			2 年 生			3 年 生		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
農業科学科	19	22	41	22	16	38	21	20	41
食品科学科	6	35	41	8	33	41	8	33	41
森林科学科	32	9	41	30	8	38	28	9	37
生活科学科	0	40	40	0	41	41	0	40	40
合 計	57	106	163	60	98	158	57	102	159

全校生徒数
（平成23年1月31日現在）

昭和44年から、園芸（野菜）・畜産・農業機械部門と、農場をまわってまいりました。その間、同窓会会長5名、卒業生8000人、教員約380名と多くの人々と親しくさせて頂き、また、勉強させて頂きました。

新・旧校舎とも半々くらいの年数で農場を見てきて、旧農場では古い骨董のような農業機械を修理しながら使用し、新農場では未だに旧農場のハウスパイプを使用している所もあり、そこで野菜作りをしていました。

生徒も、男子生徒中心から女子生徒へと様変わりして、実習での力仕事などでやりやすい点も多く有りましたが、40才半ばに入ると同窓生の子弟が入学してくるようになり、仕事がいやしくなりました。また、同窓会活動では、同窓会の総会から集いへと変わり、仕事の分担もスムーズになり、毎年1月末の「同窓生の集い」が多くの参加者になってきて、良かったと思っています。

42年間、無事に卒業できるのは皆様方のおかげです、本当に有難うございました。今後、旭川農業高校同窓会が益々盛会で、発展されることを祈っております。



同窓会 事務局次長
実習担任教諭
高倉 忠 (44Ab)

旭農一筋、42年 「旭農を退職するにあたり」

進路動向
（平成23年1月31日現在）
道内高校生の内定率は68.9%なので、本校生徒は健闘していますが、特に就職については、厳しい状況が続いています。今後とも、進路指導部を中心として、早期からの進路指導に心掛けて行く予定です。

	希望者数	決定者数	決定率
進 学	74	64	86.5%
就 職	84	51	60.7%
自 営	1	1	100%
全 体	159	116	73.0%